

下関 亀山八幡宮、大造営終え式典

外壁が白く塗り直された本殿 下関市



下関市の亀山八幡宮本殿の外壁修復や石畳の改修工事などの「平成の大造営」が終了したことから20日、

氏子ら関係者約130人が出席して完成奉告祭があった。

修造工事は昨年7月中旬

に始まり今年6月下旬に終了。事業費約1億2千万円は、全国の約3500人から集まった寄付でまかなったという。雨漏り対策をした屋根のふき替えや、飾り金具の金めつきを塗り直すなどした。奉告祭後の記念式典で、林芳正農林水産大臣は「多くのみなさまの真心を頂いての大造営となった。いままでよりいっそう参っていただきたい」と話した。

(上山崎雅泰)